

## 大会運営規定

- 1 各チームとも試合開始予定時刻の60分前までに集合すること。
- 2 ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
- 3 試合中ベンチに入ることのできる人員を次の通り制限する。  
責任者、監督、コーチ、登録選手、マネージャー、スコアラーの計31名以内とする。
- 4 試合前のシートノックは行わない。
- 5 試合前のトスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。但し、天然芝上では行わないこと。
- 6 バットリング、マスコットバットは使用しない。
- 7 試合回数は全試合トーナメント方式6回戦とし、4回以降7点差及び降雨、日没のコールドゲームを適用する。但し、1・2回戦は3回以降10点差のコールドゲームを適用する。
- 8 規定のイニングを終了し同点の場合、7回よりタイブレーク制を適用する。
- 9 全ての試合時間を90分以内とし、その時間を過ぎて新しいイニングへ入らないこととする。時間切れ同点の場合はタイブレーク制を適用する。  
{\*タイブレーク}  
継続打順の無死一、二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁走者は順次前の打者とする。

- 10 投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
  - ・ 同一日における投手の投球数を70球以内（4年生以下は60球以内）とする。  
但し、試合中規定投球数に達した場合、その打者の攻撃中に攻守交代となるか打撃を完了するまで投球できる。
  - ・ 一週間における投手の投球数を210球以内（4年生以下は180球以内）とする。
- 11 指名打者制を採用する。（公認野球規則5. 11）  
但し、大谷ルールは採用しない。
- 12 大会使用球は、全日本軟式野球連盟公認球J号とする。
- 13 メンバー表は6部作成し、前の試合の3回終了後または50分経過後、大会本部に提出し交換する。（必ず、フリガナを付けること。）
- 14 打者、次打者、走者及びベースコーチは両耳付ヘルメットを、捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レグガード・ファウルカップを必ず着用すること。
- 15 上記及び金属バット、捕手用マスクはスロートガード付き公認マーク入りのものを使用すること。
- 16 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム（背番号0番から99番までとし、監督30番、コーチ29番、28番、主将10番とする。）を着用すること。
- 17 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
- 18 試合に勝ち残ったチームは、大会本部で次の日程を確認しておくこと。
- 19 本規定に定めていない事項、明確でない事項は、公益財団法人全日本軟式野球連盟の定める規定・規則による。